#### パラメータ説明

- \*\*loading\*\*: 読み込み中の表示を行うか否かを指定。（指定是否在加载期间显示。）

- 必須: 任意 (default: true)

- 型: Boolean

- true: body 部分を隠し、スロバー(flux-throbber)を表示する。

- false: body を表示する。

- \*\*selectable\*\*: 左端のフィールドにチェックボックス (ラジオボタン) を表示するか否かを指定。

指定是否在最左侧的字段中显示复选框（单选按钮）。

- 必須: 任意 (default: false)

- 型: Boolean

- true: チェックボックス (ラジオボタン) を表示する。

- false: チェックボックス (ラジオボタン) を表示しない。

- その他

- チェックボックス (ラジオボタン) を表示する場合

- 先頭フィールドが「チェックボックス (ラジオボタン) +先頭フィールド」に変化する。

- 元々の先頭フィールドを 2 番目のフィールドにしない。

- \*\*draggable\*\*: 行をdraggableにするか否かを指定。指定行是否应可进行拖拽

- 必須: 任意 (default: false)

- 型: Boolean

- true: 行を掴むことができる。

- false: 行を掴むことができない。

- \*\*drag-to-sort\*\*: ドラッグされたテーブル行を並び替えるかどうかを指定。指定是否对拖动的表行进行排序。

- 必須: 任意 (default: false)

- 型: Boolean

- true: ドラッグ中は挿入位置を示す緑色の線が表示される。

- false: ドラッグ中は緑色の線が表示されない。

- その他

- このプロパティが true に設定されている場合、テーブルの下に 15 ピクセルの余分な領域が存在する (テーブルのmax-heightには影響しない)。これは、挿入位置がテーブルの末尾にあることを検出するために使用される。

- \*\*selection-mode\*\*: 選択モードを指定。

- 必須: 任意 (default: multiple)

- 型: String

- multiple：checkbox による複数選択 多选框

- single：radiobutton による単一選択 单选框

- その他

- selectable が true の時のみ有効

- selection-mode が single の場合

- items の selected の値が true のアイテムがあれば checked で表示。ただし、単一選択なので複数 true の場合は「その中で一番先頭のものだけ」を checked にする。

- 単一選択なので、選択時のカスタムイベント「flux-table-selected-event」の返り値は長さ 0 ～ 1 の配列。

- \*\*required\*\*: いずれかの選択が必須か否かを指定。指定任一选择是否为必填项。

- 必須: 任意 (default: false)

- 型: Boolean

- true: いずれかの選択が必須

- false: いずれかの選択が必須ではない

- その他

- selectable が true の時のみ有効

- true かつ、いずれも選択されていない場合、下部にバリデーションメッセージ "[error アイコン] このフィールドは必須です。"を表示する。

- 未指定の場合は false。

- muletiple の場合も 1 つ以上の選択が行われているか判定する。

- \*\*column-resizable\*\*: 各テーブルのカラム幅を変更できるか否かを指定。指定是否可以更改每个表的列宽。

- 必須: 任意 (default: true)

- 型: Boolean

- true: 各テーブルのカラム幅を変更できる

- false: 各テーブルのカラム幅を変更できない

- その他

- 未指定の場合は true

- ヘッダーのカラム間の境界線をドラッグすることで変更できる。

- テーブル全体の幅については変更不可。カラム間の幅のみ。

- \*\*width\*\*: パーツの長さを指定。

- 必須: 任意 (default: full)

- 型: ['full',Number(1 以上の整数)]

- full: 親要素に対して 100%の長さで表示。親要素のサイズ変更に追随する。

- Number(1 以上の整数): 固定の幅で表示(単位：pixel)。

- 最小 200px とする。

- \*\*highlight-whole\*\*: テーブル全体をハイライト表示するか否か。是否突出显示整个表。

- 必須: 任意 (default: false)

- 型: Boolean

- true: テーブル全体をハイライト表示する

- false: テーブル全体をハイライト表示しない

- \*\*column-selectable\*\*: カラムを選択状態にするか否かを指定。指定是否选择列

- 必須: 任意 (default: false)

- 型: Boolean

- true: カラムを選択状態ことができる。

- false: カラムを選択状態ことができない。

- \*\*selected-column-index\*\*: 選択状態カラムのインデックス。选定状态列上的索引

- 必須: 任意 (default: -1)

- 型: Number

- Number(-1 以上の整数): 選択状態カラムのインデックス、-1 の場合は選択状態カラムがない。

- \*\*fields\*\*: テーブルのフィールド情報。表字段信息

- 必須: 任意 (default: 空配列)

- 型: Array

- key: スロット名と一致させるためのキー。与插槽名称匹配的键

- 必須: 任意 (default: 空文字)

- 型: String

- label: ヘッダーとして表示する文字列。要显示为标题的字符串

- 必須: 任意 (default: 空文字)

- 型: String

- sortable: 対象のカラム(列)に対してソート操作が可能か否か。目标列是否可以执行排序操作

- 必須: 任意 (default: false)

- 型: Boolean

- true: カラムのヘッダーをクリックすることでカスタムイベント「flux-table-sort-selected-event」を発行する

- false: ソート不可

- tooltip: マウスオーバー時に表示するツールチップ文字列。鼠标悬停时要显示的工具提示字符串

- 必須: 任意 (default: 空文字)

- 型: String

- width: カラムの幅を指定。

- 必須: 任意

- 型: Number(1 以上の整数): 固定の幅で表示(単位：pixel)。

- その他

- 1 未満の整数、整数以外の値が指定された場合、未指定とみなす

- 最小値：34px。これより小さい値が指定された場合、34px とみなす。

- width-percentage も指定されている場合、こちらを優先する

- 左端のカラムから優先して幅を適用する。テーブル全体の width を超えるカラムは指定を無効にする

- column-resizable: true の場合、初期値としてのみ使用する

- width-percentage: テーブル全体に対するカラムの幅(%)を指定。指定整个表的列宽 （%）

- 必須: 任意

- 型: Number(1 以上の整数)

- その他

- 1 未満の整数、100 より大きい整数、整数以外の値が指定された場合、未指定とみなす

- 計算された値が width の最小値より小さい場合、最小値が指定されたとみなす。

- 左端のカラムから優先して width-percentage から計算される幅を適用する。テーブル全体の width を超えるカラムは指定を無効にする

- column-resizable: true の場合、初期値としてのみ使用する

- スクロールバーが表示される場合、それを除いた残りのテーブル幅に対する割合でカラムの幅を決定する

- min-width: カラムの最小幅(px)を指定。

- 必須: 任意

- 型: Number(1 以上の整数): カラムの最小幅を指定(単位：pixel)。

- その他

- 最小値：34px。これより小さい値が指定された場合、34px とみなす。

- 同じフィールドに対する width や width-percentage より優先する。それらの値が本パラメータの値より小さい場合はそれらを無視し、本パラメータの値を適用する

- 本パラメータの値を適用するとテーブル全体の width を超えてしまう場合、本パラメータの値は無視する

- 注意: 利用時 fields を JSON.stringify()で文字列に変更すること

使用 JSON.stringify（） 将字段更改为字符串

- \*\*items\*\*: 各レコードの表示に利用する情報。用于显示每条记录的信息

- 必須: 任意 (default: 空配列)

- 型: Array

- 配列の要素のパラメータの内、以下は固定パラメータであり、他(name や age など)はデータ表示に利用するもののため任意。以下是固定参数，其他参数（如名称和期限）是可选的，因为它们用于数据显示。

- selected: 該当するレコードのチェックボックスが選択状態か否かを指定。

指定是否选中相关记录的复选框。

- 必須: 任意 (default: false)

- 型: Boolean

- true: selected 状態で表示

- false: unselected 状態で表示

- disabled: 該当するレコードのチェックボックスが活性状態か否かを指定。

指定相关记录的复选框是否处于活动状态

- 必須: 任意 (default: false)

- 型: Boolean

- true: disabled 状態で表示

- false: enabled 状態で表示

- highlight: 該当するレコードをハイライト表示するか否か。

- 必須: 任意 (default: false)

- 型: Boolean

- true: 該当するレコードをハイライト表示する

- false: 該当するレコードをハイライト表示しない

- その他

- highlight-whole="true"の場合、本パラメータは無視する。

- 注意: 利用時 items を JSON.stringify()で文字列に変更すること

- \*\*default-sort-options\*\*: 初期表示時のソート対象のカラムとソート順序を指定。

指定要排序的列和初始显示时的排序顺序

- 必須: 任意 (default: 空配列)

- 型: Object

- key: 対象のカラムに対応するパラメータ「fields」の key の値。

- 必須: 任意 (default: 空文字)

- 型: String

- order: ソート順序を表す文字列。

- 必須: 任意 (default: 空文字)

- 型: String

- asc：昇順を表す

- desc：降順を表す

- その他

- sortable=false(or 未指定)であるカラムのヘッダーをクリックしても本イベントは発行しない。

- \*\*max-height\*\*: 本パーツ(ヘッダー+コンテント)の最大の高さを指定。

- 必須: 任意

- 型: [Number(1 以上の整数)]

- Number:{任意の 1 以上の整数}：最大の高を指定。(単位：pixel)

- max-height を超える場合、コンテント領域に縦スクロールバーを表示。

- 最小値：100px。これより小さい値が指定された場合、100px とみなす。

- ヘッダー領域はスクロールせず固定。

- テーブルの高さが max-height を超えない場合、スクロールバーを表示しない。

- \*\*custom-validation-message\*\*: 本パーツ利用側で独自のバリデーションが必要な場合、違反時に独自のメッセージを指定。

- 必須: 任意 (default: 未指定)

- 型: String

- その他

- 本パラメータが指定された場合、他の標準のバリデーション(必須/文字列長)に問題が無い場合でも、バリデーションエラーとみなす。

- 他の標準のバリデーションメッセージ(必須/文字列長)よりも優先して本パラメータのメッセージを表示する。

- 本パラメータが指定されている場合、イベント'ui-valid-event'は常に false を返す。

- 空文字や nul が指定された場合、未指定と同じとみなす。

- \*\*flux-table-selected-event

\*\*: パーツ内蔵テキストの表示言語を指定。指定部件嵌入文本的显示语言

- 必須: 任意 (default: en)

- 型: String

- ja：日本語で表示

- en：英語で表示

- zh：中国語（簡体字）で表示

- zh-TW：中国語（繁体字）で表示

- ko：韓国語で表示

- vi：ベトナム語で表示

- th：タイ語で表示

- de：ドイツ語で表示

- es：スペイン語で表示

- fr：フランス語で表示

- it：イタリア語で表示

- その他

- 未指定の場合や、上記と一致しない場合は"en"が指定されたとみなす。

- \*\*イベント'flux-table-selected-event'\*\*: 任意のチェックボックスの選択状態が変化した場合に発行されるイベント。現在選択されているレコードに対応する values の要素を配列で返す。

当任何复选框的选定状态更改时发出的事件。 返回与当前所选记录对应的值元素数组。

- イベント発行時に渡される値の型：Array

- イベント発行時に渡される値

- 選択されているレコードに対応する values の要素を配列で返す

- \*\*イベント'flux-table-row-clicked-event'\*\*: 任意の行をクリックした場合に発行されるイベント。クリックしたレコードに対応する value を返す。单击任何行时发出的事件。 返回与单击的记录对应的值

- イベント発行時に渡される値の型：Object

- イベント発行時に渡される値

- クリックしたレコードに対応する value を返す

- その他

- disabledの行はクリックできない

- 行のクリック操作は selectable が true の場合のみ、チェックボックス（ラジオボタン）クリックをした時と同じように選択状態になり、同時に flux-table-selected-event イベントも発火される

- テキストフィールドやボタンなどはクリックしても選択状態にならない

- \*\*イベント'flux-table-row-grabbed-event'\*\*: 任意の行を掴んだ場合に発行されるイベント。マウスダウンしたレコードおよび選択状態になっているレコードに対応する values の要素を配列で返す。

- イベント発行時に渡される値の型：Array

- イベント発行時に渡される値

- マウスダウンしたレコードおよび選択状態になっているレコードに対応する values の要素を配列で返す

- その他

- draggableを true にする必要がある

- テキストフィールドやボタンなどにマウスダウンしても掴めない

- selection-mode が single の場合、掴む前に選択されている行は、戻り値から除外される

- \*\*イベント'flux-table-sort-selected-event'\*\*: sortable=true であるカラムのヘッダーをクリックした際に発行されるカスタムイベント。

- イベント発行時に渡される値の型：Object

- イベント発行時に渡される値

- key: 対象のカラムに対応するパラメータ「fields」の key の値。

- order: ソート順序を表す文字列。

- クリック直前が未ソートだった場合、'asc'(昇順を表す)を返す。

- クリック直前が昇順だった場合、'desc'(降順を表す)を返す。

- クリック直前がが降順だった場合、'asc'(昇順を表す)を返す。

- その他

- sortable=false(or 未指定)であるカラムのヘッダーをクリックしても本イベントは発行しない。

- 以下の実行により、本イベントを任意のタイミングで強制的に発行することも可能。

- `this.$refs[refの値].vueComponent.tableSortEvent();`

- \*\*イベント'ui-valid-event'\*\*: カスタムイベント。バリデーション結果を返す。

- イベント発行時に渡される値の型：Boolean

- イベント発行時に渡される値

- 「selectable=true」かつ「required=true」の場合、入力が行われる毎にバリデーション結果(OK の場合 true)を返す。

- すべてのバリデーションが不要の場合、常に true を返す。

- その他

- 以下の実行により、本イベントを任意のタイミングで強制的に発行することも可能。

- `this.$refs[refの値].vueComponent.validate();`

- \*\*イベント'flux-table-dragover-event'\*\*: 本パーツが dragover された場合に発行されるイベント。dragover 部分に応じて異なる値を返す。

- イベント発行時に渡される値の型：Object

- イベント発行時に渡される値

- event: 標準で発行される dragover イベント

- value: dragover されたレコードに対応する いずれかのレコードが dragover された場合、該当するレコードに対応する values の要素を返す。

- レコード以外(ヘッダーおよびレコードが 0 件の場合の tbody 領域)が dragover された場合、null を返す。

- その他

- value の値が変わったタイミングで本イベントが発行される。

- \*\*イベント'flux-table-dragleave-event'\*\*: 本パーツが dragleave された場合に発行されるイベント。dragleave 部分に応じて異なる値を返す。

- イベント発行時に渡される値の型：Object

- イベント発行時に渡される値

- event: 標準で発行される dragleave イベント

- value: dragleave されたレコードに対応する values の要素を返す。

- レコード以外(ヘッダーおよびレコードが 0 件の場合の tbody 領域)が dragleave された場合、null を返す。

- \*\*イベント'flux-table-row-dragstart-event'\*\*: 任意の行を dragstart された場合に発行されるイベント。dragstart 部分に応じて異なる値を返す。

- イベント発行時に渡される値の型：Object

- イベント発行時に渡される値

- event: 標準で発行される dragstart イベント

- index: dragstart された行のインデックス値

- value: dragstart されたレコードに対応する value を返す

- \*\*イベント'flux-table-row-drop-event'\*\*: 行がドロップゾーンとして使用され、drop イベントがトリガーされたときに発行されるイベント。drop 部分に応じて異なる値を返す。

- イベント発行時に渡される値の型：Object

- イベント発行時に渡される値

- event: 標準で発行される drop イベント

- index: drop された行のインデックス値

- value: drop されたレコードに対応する value を返す

- \*\*イベント'flux-table-selected-column-event'\*\*: column-selectable=true であるカラムのヘッダーをクリックした際に発行されるカスタムイベント。

- イベント発行時に渡される値の型：Number

- イベント発行時に渡される値：選択状態カラムのインデックス、選択状態カラムがない場合は -1 が渡される。

- その他

- column-selectable=false(or 未指定)であるカラムのヘッダーをクリックしても本イベントは発行しない。

- \*\*slot="{key}-{index}"\*\*: テーブルの body 領域の各 column に表示する要素を指定。

键＋索引 指定要在表正文区域的每一列中显示的元素。

- column の指定について

- {key}: パラメータ「fields」の key の値と一致させることで、対象の列に対して任意の要素を表示可能。

- {index}: n 行目の場合 n-1 を指定。対象の行に対して任意の要素を表示可能。

- key や index の指定方法については上記のサンプルの通りに実装することを推奨。

#### その他

- 各フィールド(列)の長さは内容に応じて自動で調整する。

- loading: true(表示更新中) の場合、カラム幅の変更を禁止する。

- loading: false かつ「items=未指定 or 空の配列」の場合、テーブルのデータ領域の 1 行目に「表示する項目がありません。」と表示する。